

平成30年度 事業報告

少子高齢化、人口減少、子どもの貧困の増加など地域社会や家庭の機能が急速に弱体化しており、さまざまな福祉課題を生み出す状況になっております。

このような中、地域福祉の推進を図ることを目的とする本会は、地域福祉を支えるネットワークの推進として、鎌ヶ谷市より地域包括ケアシステムの第2層協議体設置事業を受託しました。この事業は、市内6コミュニティエリアに、生活支援コーディネーターを配置し、地域の関係者が「我が事」として、地域の生活課題について話し合い、対応することが求められています。このことを踏まえ、4月に北部圏域、10月に東部圏域で第2層協議体事業を開始しました。

また、災害時に備え、未就学児を抱えるママを対象に、子ども同伴で参加できる「防災ママカフェ」事業及び人生の終末期に備えるための終活セミナーを3回シリーズで開催しました。

平成30年度に実施した事業につきましては、下記のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 平成30年5月23日（水）

- ・平成30年度補正予算について
- ・平成29年度事業報告について
- ・平成29年度決算について
- ・平成30年度定時評議員会開催について

第2回 平成30年12月19日（水）

- ・評議員候補者の推薦について
- ・社会福祉大会について
- ・職員給与規程の一部改正について

第3回 平成31年3月14日（木）

- ・寄付者の表彰について
- ・平成31年度事業計画案について
- ・平成31年度予算案について
- ・平成30年度第2回評議員会開催について

◎評議員会

第1回（定時）平成30年6月22日（金）

- ・平成30年度補正予算について
- ・平成29年度事業報告について
- ・平成29年度決算について

第2回平成31年3月22日（金）

- ・平成31年度事業計画案について
- ・平成31年度予算案について

◎内部監査平成30年5月15日（火）

- ・平成29年度事業報告について
- ・平成29年度会計決算諸表について

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費	9,412,903円	(48自治会)
②法人会費	517,000円	(102件)
③施設・団体会費	301,000円	(55件)
合計	10,230,903円	

○自治会へ福祉事業費として、2,326,000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業及び福祉団体等への支援

- ・第21回鎌ヶ谷市社会福祉大会を開催した。(参加者270名)
- ・ホームページのリニューアルを行った。
- ・社協だより、事業パンフレット、ホームページ等で啓発に努めた。
- ・市内で火災による災害が発生したため、全焼1件、半焼3件、重傷1件に対し見舞金を交付した。
- ・法外援護費（帰宅旅費）を8名に払出した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係行政機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会や全国民生委員児童委員連合会が主催する研修会等への参加を図るなど、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。

- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に480,000円を助成し、その活動を支援した。
- ・市内全小中学校（14校）に福祉活動助成金として、一校当たり、50,000円を助成し、福祉教育（校内環境美化、高齢者との交流、福祉募金活動等）の支援に努めた。
- ・福祉健康フェアの開催に協力した。（入場者数約2,100名）
- ・すまいる祭りを開催した。（約280名参加）
- ・制服リユース事業を実施した。（提供者55名 202点、利用者101名 179点）
- ・障がい者スポーツの体験会を開催した。（ボッチャ）
- ・人生の終末期に備えるための終活セミナーを3回シリーズで実施した。
（830名参加）

第1回	終活について、エンディングノートの書き方	280名参加
第2回	相続と遺言について	250名参加
第3回	終末期医療とは	300名参加

2 地域福祉事業

① 地区社会福祉協議会事業

地域福祉活動の中核的組織として、高齢者から子どもまでの地域住民を対象とした事業を、6地区ごとに広報、ふれあい交流、在宅福祉、ボランティア育成などの各委員会が中心となり展開した。

○ 中央地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「まごころ」（約5,800部）を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。

ふれあい交流	茶話会	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上の方を対象に、アンデルセン公園散策、健康指導・体操、わなげや玉入れなどのゲーム及び「新年会（三味線鑑賞）」等で交流した。（年6回延べ226名参加）
在宅福祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に体操教室やウォーキングを実施した。（年2回延べ100名参加） ・ひとり暮らしの高齢者を対象に、4つの地域で各援護グループの協力を得て、交流会を実施した。（年8回延べ408名参加）
ボランティア育成	鎌ヶ谷中学校 JRC 委員会と地域の方との交流会 ボランティア研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌中 JRC 委員会の生徒と地域の方とで、防災講座「目黒巻」講座でイメージトレーニング体験や非常食の試食で交流を図った。（48名参加） ・運営委員や一般の方を対象に、手話教室を実施した。（年2回延べ60名参加） ・運営委員と援護グループ会員を対象に、TEPIA 先端技術館・夢の島熱帯植物館にボランティアバス研修を行った。（37名参加）
実行委員会	ふれあいサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、地域の高齢者や小さな子ども連れの親子など、「誰でも気軽に集える場所」を目指しサロンを開催した。（年12回延べ372名参加）

◎見守りパトロール〈通年、4委員会でも月に実施した。〉

◎鎌ヶ谷中学校の行事招待状配布に協力した。（高齢者との交流）

○ 中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもいやり」(5,500部)を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。 ・ホームページに掲載し、地区社協事業等の啓発に努めた。
ふれあい交流	ひょうたん祭り 地区ふれあい祭り <クリスマス会> バス研修会 防災備品点検 発電機点検	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬店(焼きそば・綿菓子) ・高齢者、障がい者、子どもを対象に手作りパーティーを実施した。(321名参加) ・運営委員と地域のボランティアを対象に「淑徳共生苑」で研修を実施した。(35名参加) ・防災備品の作動確認を年2回実施した。
在宅福祉	介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象にウォーキング講習・健康体操・歯科・栄養の講義を実施した。(年5回延べ172名参加)
ボランティア育成	ボランティア支援活動 青少年福祉活動 五本松小ふれあい会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特別養護老人ホームにおいて、定期的にボランティア活動「シーツ交換」を行った。(年10回延べ151名参加) ・初富、五本松小学校、第五中学校の児童生徒が、ひとり暮らしの高齢者の方を対象に手すきハガキを作り、年賀状を出す事業を実施した。(年3回延べ85名参加) ・五本松小学校3年生と高齢者との交流会(昔あそびと給食)を実施した。(19名参加)
部会活動	あじさいグループ (ミニリハビリ教室) サロン事業(翔友会)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中などの後遺症で体の不自由な方を対象に血圧測定、ゲーム、歯科講習等を行った。(年11回延べ133名参加) ・お花見・七夕飾り・きらり体操などを行った。(年11回延べ433名参加) ・特別養護老人ホーム(翔裕園)との情報交換を行った。(年2回)

その他	運営委員研修会	・運営委員、地区ふれあい員、民生委員児童委員、援護グループを対象に「高齢化する地域を支えるために（続編）」研修会を実施した。（70名参加）
-----	---------	---

○ 東部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 見守りの啓発 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあい」（8,300部）を年2回発行。号外版（事業計画掲載）を1回発行。 ・子どもの見守り啓発を年3回実施。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
地域交流	東部ふれあいまつり ふれあい福祉まつり 移動児童館 レジンアクセサリー作り 交流バスハイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体サークル展示に参加。（1,856名参加） ・老人クラブ、談話室の発表を開催した。（745名参加） ・道野辺小、東部小の児童を対象に移動児童館事業に協力した。（年5回延べ224名参加） ・未就園児の子育て中の母を対象に、子育て支援事業に協力した。（14組29名参加） ・閉じこもりがちな高齢者を対象に、オライはすぬま、守谷酒造を見学した。（37名参加）
健康福祉	ミニリハビリ ほのぼの会 ふれあいサロン 「すみれ」	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方や高齢者を対象に、血压測定、体操、ゲーム等を行った。（年10回延べ405名参加） ・誰でも気軽に立ち寄れる交流の場（おしゃべり・お茶飲み等）を提供した。（年12回延べ467名参加）
育成研修	地区ふれあい員研修 福祉講座 青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の福祉サービスについての講習、及び「地域の見守りについて」グループ討議を実施した。（158名参加） ・車いす・アイマスク体験を実施した。（53名参加） ・道野辺小、東部小学校児童を対象に「手作りおもちゃで遊ぼう」を実施した。（115名参加）

その他	東部地区懇談会	・第二中学校、鎌ヶ谷警察署、高齢者支援課、各自治会長、市社協、地区社協役員、民生委員等と地区懇談会を開催した。(34名参加)
	ジュニア防災キャンプ	・第二中学校運動部男女生徒等による、一泊二日の避難生活体験学習。(72名参加)
	ごみの分け方・出し方講習会	・東部地区合同でごみ分別出張講座を実施した。(78名参加)
	ちよいボラの会研修	・地域のボランティアについて話し合った。(14名参加)

○ 西部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙	・「あけぼの」(3,600部)を年2回発行。 ・号外版(事業計画掲載)を1回発行。
	福祉健康フェア	・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
地域交流	炊き出し訓練	・炊き出し訓練として、豚汁の振る舞いを実施した。〈西部地区ふれあいまつりと同時開催〉(294名参加)
	昔遊びの会	・くぬぎ山児童センター事業に協力し、こま、けん玉、かるた等を行った。(44名参加)
	サロン「梨の花」	・地域のコミュニティ作りの場としてサロン「梨の花」を開始。(年4回延べ204名参加)
在宅福祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会)	・脳トレ、ゲーム等を実施した。(年6回延べ218名参加)
	高齢者支援教室	・「終活セミナー」を実施した。 ・栄養士による栄養指導、歯科衛生士による口腔ケア指導を実施した。(年2回延べ75名参加)
	在宅介護者のつどい	・介護をしている方の悩みごとを話し合い、チェアヨガを行った。(年2回延べ38名)
ボランティア	体操講習会	・地域の方を対象に国際武道大学の先生を招いて講習会を実施した。(年2回延べ92名参加)
	バス研修	・運営委員と地区ふれあい員、地域の高齢者を対

イ ア 育 成	わかば (健康作りの会) ウォーキング 講演会	<p>象に、サイバーダイnstスタジオを見学した。 (36名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師による体操教室を開催した。(年4回延べ147名参加) ・健康増進のために、くぬぎ山から鎌ヶ谷ファイターズタウンまで散策した。(34名参加) ・西部小学校・PTAと共催にて、「命の授業」を開催した。(216名参加)
そ の 他	ミニリハビリ教室 (こぶしの会)	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ山地区の70歳以上の方を対象にカラオケ、ゲーム、脳トレ、血圧測定等を実施した。(年9回延べ468名参加)

○ 南部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんぶだより」(約6,000部)を年2回発行。
在 宅 福 祉	さわやかライフ倶楽部 介護予防教室 高齢者バスハイキング 地区リハビリ教室 (さくら会) 子育て支援 秋のおたのしみ会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に、健康体操を実施した。(年3回延べ168名参加) ・地域の方々を対象にコグニサイズやチェアヨガを行った。(年3回延べ140名参加) ・ひとり暮らしの高齢者を対象に成田山新勝寺に行った(45名参加) ・障がいのある方を対象にグラウンドゴルフ、健康講話、お話会等を行った。(年7回延べ103名参加) ・豆腐作り、機中八策、バランスボールを実施した(年3回延べ36組参加) ・談話室、地区リハビリ教室、保育園との交流会を行った。(97名参加)

事業	(災害時支援部会) 防災倉庫点検	・防災備品の使用確認等を行った。(20名参加)
	(地域交流部会) 南部ふれあいの集い	・盲導犬や視覚障がい者について正しい知識を学んだ。(100名参加)
	道野辺保育園交流	・花壇の手入れや園行事の参加をとおして園児との交流を図った。(年5回延べ10名参加)
	南児童センターとの交流	・春まつり等に参加し交流を図った。 (延べ5名参加)
	南部芸能交流大会 南部いきいきサロン	・老人クラブを対象に実施した。(92名参加) ・地域の方を対象に喫茶コーナーを設け交流を図った。(年6回延べ166名参加)
	公民館まつり参加 グランド・ゴルフ大会	・健康相談、喫茶コーナー、活動展示で地域交流を行った。(27名参加) ・地域の方を対象にグランド・ゴルフをとおして交流を図った。(110名参加)
その他	(なんぶ孫の手会部会)	・地域ボランティア(ゴミ出し176件、施設ボランティア等63件、その他0件)活動を行った。 (年間239件)
	孫の手バス研修	・グリコピア、ファンケルの工場見学を実施した。 (39名参加)
	子供発達センターのびのびルーム支援	・運動会、懇談会、クリスマス会、卒園式等に参加した。(8名参加)
その他	慈祐苑の納涼祭支援	・車椅子の介助ボランティアとして参加した。 (16名参加)

○ 北部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙	・「北部地区社協だより」(3,000部)を年2回発行。
ふれあい交流	サロン事業 (サロンあ・さ・か) おせんべい焼き	・異世代交流と気軽に立ち寄れる憩いの場の提供。 手づくり品の作成や脳トレ等を行った。(年10回延べ234名) ・栗野コミュニティセンターにて地域の子ども達や父母との交流を目的に、炭で火を熾しておせんべいを焼いたり、駄菓子やドリンクの販売を行った。(75名)
在宅福祉	介護予防教室 友愛訪問	・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯を対象に保健師による介護予防、栄養士による低栄養予防についての講話、スポーツプログラマーによる軽体操、歯科衛生士による口腔ケアについての講話等を実施した。(年3回延べ135名参加) ・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯(384名)へ品物を持って訪問し、安否確認を実施した。
健康推進	健康体操 公開講座	・地域の方を対象に、健康づくりを目的に、健康運動指導士によるすり足予防や軽体操を実施した。 (年10回延べ260名参加) ・地域の方を対象に、健康講座、詐欺被害予防、認知症予防等についての講座を行った。(年8回延べ465名参加)
その他	地域包括ケアシステム 助け合い活動 あさか 福祉健康フェア 北部ふれあいまつり	・地区協議体会議：高齢者支援についてアンケート結果を参考にして、課題の検討および高齢者支援の計画、周知を図るためにチラシ作成等(年11回延べ161名) ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。 ・地区社協の活動内容のパネル展示、炊き出し用具等の災害備品展示を行った。(2,200名参加)

	地域交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区ふれあい員、民生委員、自治会役員を対象に神奈川県ライトセンター（視覚障害福祉関係）へ行き、研修等を行った。（43名参加）・
--	-------	---

② 生活支援体制整備事業(第2層協議体活動)

地域包括ケアシステムの一部である生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター設置業務委託事業＜実施主体：鎌ヶ谷市＞）への取り組みとして、北部圏域と東部圏域に第2層協議体を設置し、地域資源の開発やネットワークの構築などについて、話し合いを進めた。

圏域（協議体）	開催数	実施内容
北部圏域 (たすけあい活動あさか)	11回	<p>地域課題の抽出と解決に向けての話し合いを続けた結果、「地域の繋がり希薄化」を課題とし、説明・啓発用のチラシを作成して、北部圏域内の老人クラブ、日赤奉仕団、自治会などに取り組み趣旨説明を行った。</p> <p>また、買い物難民支援として、買い物マップ作成に取り組むこととした。</p>
東部圏域 (東部地区第2層協議体)	6回	<p>圏域内の自治会が実施した「住民アンケート」を基に、住民が感じている困りごとの把握に努めた。</p> <p>また、地域の特性や課題について、付箋を使いながら意見を出し合い、情報や意見の整理を行う中で、地域の課題を「小さな集いの場を創ること」「活用しやすい相談先一覧を作成すること」が必要との意見が出た。</p>

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等、ボランティア活動の推進に努め、ボランティア団体への支援や市内福祉団体等からの依頼により、福祉をテーマとした講座にも協力した。また、総合福祉保健センター

を会場に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(9月8日：95名参加)を実施した。

①相談・活動状況

相談件数	3,787 件
斡旋件数	726 件

②登録状況

ボランティア団体 (39 団体)	1,007 名	災害ボランティア保険加入者 (18 名)
個人ボランティア	171 名	
合 計	1,178 名	

○事業の内容等

事業名	開催日	参加者
ボランティア入門講座	7月5日	60名
市民ボランティア体験講座 (前期8コース・後期8コース)	7月6日～7月26日 (前期) 2月1日～2月28日 (後期)	14名 18名
夏休み福祉体験(8コース)	7月25日～8月16日	62名
災害ボランティア養成講座 (防災ママカフェ)	10月23日	90名 同伴児53名
ボランティア活動スキルアップ講座	1月30日	30名

○講師派遣

事業名 (依頼先等)	開催日	参加者
ブックスタート事業(健康増進課)	5月29日	14名
子育てサポーター養成講座(こども課)	6月5日	9名
保健推進員研修(健康増進課)	1月15日	35名

○福祉講座等協力

事業名（依頼先等）	開催日	参加者
手話講座(赤十字奉仕団)	4月20日	100名 ボランティア13名
手話講座①(中央地区社協・ボランティア推進委員会)	5月18日	20名 ボランティア9名
手話講座②(中央地区社協・ボランティア推進委員会)	6月22日	20名 ボランティア9名
手話講座(鎌ヶ谷地区高校家庭科担当教員)	7月30日	20名 ボランティア10名
手話講座(西部地区社協 こぶしの会・すずらんの会)	9月5日	42名 ボランティア11名
手話講座(市民団体 ミモザの会)	10月1日	2名 ボランティア5名
手話講座①(初富小学校 手話クラブ)	10月30日	児童5名 ボランティア5名
手話講座(初富小学校 JRC 委員会)	11月6日	児童21名 ボランティア6名
防災講座(鎌ヶ谷中 JRC 委員会・中央地区社協交流会)	11月10日	42名 ボランティア6名
車いす・アイマスク体験(東部地区社協 育成研修委員会)	12月8日	一般参加26名 V育成委員他16名 ボランティア11名
手話講座②(初富小学校 手話クラブ)	2月19日	児童5名 ボランティア5名
手話講座①(南部小学校6年)	2月27日	児童53名 ボランティア9名
手話講座②(南部小学校6年)	3月12日	児童53名 ボランティア8名

○福祉用具の貸出

備品名	貸出件数	貸出先
車いす	24	小学校・地区社協・福祉団体・個人
高齢者疑似体験セット	9	企業・高齢者施設・病院・小学校

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や心身に障がいのある方、子育て中の方が日常生活でお困りのとき「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事援助等のサービスを有料で提供する会員制の相互扶助の福祉サービスを実施し、利用会員の自立を目標に、在宅福祉の増進に努めた。

○活動状況

協力会員	登録者人数	42名
	活動人数	37名
利用会員	登録者人数	68名
	・安心登録人数	9名
	・休止・中止人数	11名
	・利用人数	48名
延活動利用回数		898回
延活動利用時間数		1,319時間

○協力会員の研修会

内容	開催日
協力会員登録・更新説明会 講義「介護保険制度と介護予防・日常生活支援総合事業について」	4月5日
講義「AEDの取り扱いや心肺蘇生方法について」 実習「普通救命救急Ⅰ」	6月27・28日

講義「食中毒などの食品衛生上の注意」 調理実習「お年寄りに喜ばれる食事づくり」	8月22日
講義「癒しの効果について」 実習「ハンドマッサージとハンドクリーム作り」	9月26日
講義「産後回復期の栄養摂取について」 調理実習「子どもに喜ばれる食事づくり」	10月25日
講義「最近の子育て事情と産褥期の母親と新生児について」 実習「赤ちゃんの沐浴・抱っこ・オムツ交換」	11月27日

参加延人数 122 名

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象に、リフレッシュ事業を開催し日頃の介護疲れを癒し、介護者同士の情報交換の場として、月1回実施した。

また、高齢者支援課の協力により健康面などの相談を行った。

○事業の内容等

内 容	開催日
介護体験等意見交換	4月16日
手工芸「ミニ花フラワーアレンジメント」	5月16日
バスハイク「アンデルセン公園」	6月13日
レクリエーション「ラフターヨガ」	7月12日
リラクゼーション「チェアヨガ」	8月29日
調理実習「暮らしに役立つ調理実習」	9月21日
レクリエーション「昔なつかしい遊び」	10月16日
軽スポーツ「体をほぐす運動」	11月12日
クリスマス交流会「ミニコンサート」	12月14日
新年交流会「ニューイヤーコンサート」	1月16日
手工芸「フラワーアレンジメント」	2月14日
講演「口腔ケアとアンチエイジング」	3月19日

参加延人数 105 名

○地区別「在宅介護者のつどい」

- ・在宅介護の現場で介護する家族の孤立を予防する一助として、西部地区社協の協力により地区懇談会を実施した。(年2回開催)

5 相談事業

(1) 心配ごと相談(毎週水曜日 10:00~14:00)開催日数は46日であり、民生児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。

(2) 心の相談(毎週月曜日、金曜日 10:00~15:00)開催日数は91日であり、カウンセラー3名で相談にあたった。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	2	0	0	0
2	年金問題	0	0	0	0
3	職業・産業問題	1	0	0	0
4	住宅問題	0	1	0	0
5	家族問題	5	5	71	34
6	結婚問題	2	2	0	0
7	離婚問題	3	2	0	0
8	健康・衛生問題	6	2	1	8
9	医療問題	0	0	0	0
10	精神衛生問題	2	1	0	0
11	人権・法律問題	2	2	0	0
12	財産問題	1	2	0	0
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	1	0
15	教育・青少年問題	0	0	0	0

16	心身障がい者（児）福祉問題	1	0	0	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	4	0	0	0
19	苦情問題	5	1	0	0
20	その他	2	0	1	0
	合計	36	18	74	42
	総合計		54		116

○相談員研修会

相談員を中心に社協職員研修を兼ね日頃の相談業務に役立つ研修会を開催した。

開催日	平成31年3月18日
講師	社会福祉法人千葉いのちの電話 相談担当 山西 愛子 氏
内容	講義 「千葉いのちの電話業務内容について～最近の相談傾向～」

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 128件（延べ相談件数279件）

(1) 福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・滞納世帯 1件

○年度末貸付額 239,500円

<社協30,000円（1件）、社会福祉課取扱い（要保護世帯）209,500円>

(2) 生活福祉資金等（受託事業〈実施主体：（福）千葉県社会福祉協議会〉）

○低所得世帯、身体障害者世帯等の自立更生、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請（決定）額 7,402,600円（13件）

資金種類		貸付決定額	件数
福祉資金	福祉費（転宅1、保護世帯必需品1、災	3,602,000	5

	害援護費 1、技能取得費 2)		
福祉資金	緊急小口資金 (初回給与 5)	440,000	5
教育支援資金	教育支援費、就学支度費 (専門学校 1、高校 1、大学 1)	3,360,600	3

○台帳移管事務：転入 1 件〈白井市〉(教育支援資金) 648,000円
 転出 1 件〈船橋市〉(教育支援資金) 1,940,000円

○生活福祉資金等の貸付後の状況

・年度末償還中件数 123件

(総合支援 61. 福祉(福祉 14. 緊急小口 24). 教育支援 19. 離職支援 3. 臨時つなぎ 1. 復興支援 1)

・平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月間の償還率は 11.79%

・年度末据置期間中件数 22件

(福祉(福祉 4. 小口 1). 教育支援 17)

(3) 償還を促す指導等

○「償還残高のお知らせ」等の送付(年 4 回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉

○督促状、請求書等の送付((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)

○償還免除手続き (総合 1 (就労不能)、緊急小口 2 (行方不明、死亡))

○借受世帯への居住確認等 (訪問 38 件、文書送付 34 件)

7 地域福祉権利擁護事業 (受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉)

(1) 日常生活自立支援事業

地区社協や民生児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。また福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。

①相談・訪問調査等

区 分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問 調査延べ回数
高齢者	16	211
知的障がい者	1	0
精神障がい者	5	72
上記以外	2	23
合 計	24	306

②利用契約件数

区 分	件 数
高齢者	6
精神障がい者	4
その他	2
合 計	12

*内、新規契約 3 件

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者	5
現任者（活動者）	7
合 計	12

(2) 成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言相続個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言相続について司法書士の協力を得て、相談会を開催した。(協力：公益財団法人社団法人成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部)

期 日	会 場	相談件数	相談内容
9月13日	市社協・相談室	3	① 相続・遺言について ② 成年後見制度の利用等 ③ 遺言書の書き方
10月16日	市社協・相談室	4	① 相続・遺言等 ② 成年後見制度の利用等

8 善意銀行

○寄付金総額 1,900,163円(45件)

①金銭の払出し (円)

払 出 先	金 額	備 考
地区社協	356,337	助成金
鎌ヶ谷市防災訓練	24,840	訓練に関するPRグッズ配布
ボランティア・福祉団体等	117,667	目的別寄付
小中学校	158,554	児童生徒への支援
要援助者支援	31,500	災害見舞金等、帰宅旅費等
合 計	688,898	

○寄付物品(5件)

②物品の払出し

払 出 先	物 品 名	備 考
福祉施設等	タオル・機器類	
高齢者給食	米	
すまいる祭り	クリスマス菓子	
社協	ボチャ競技用品	市民への貸し出し用

9 受託事業（実施主体：鎌ヶ谷市）

（1）福祉作業所友和園（指定管理者制度）

法定事業所（就労継続支援B型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める指導を行った。所員の定員は就労継続支援B型20名（在籍は16名）、生活介護10名（在籍12名）であった。

生活指導の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的な生活習慣が身に付くように、月例行事などいろいろな機会をとおして、具体的な指導を行った。

特に就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための指導を行い、また作業指導の面では、ラベル貼り、菓子箱折り、部品の袋詰め等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、アルミ缶・ペットボトル回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り販売した。工賃収入として、1,805,389円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を2回、個別支援計画の確認のため、個別面談を2回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を4回発行し施設内外の情報提供に努めた。

（2）地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用302回〉、団体活動室〈年間利用341回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

10 共同募金運動

（1）赤い羽根募金（10月～12月実施） （円）

区分	募金団体等	募金額
戸別募金	48自治会	5,446,142
学校募金	市内小、中学校、高等学校	128,618
法人募金	商店、会社等 274件	920,830
その他募金	職域、個人、団体等	171,779
合計		6,667,369

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金(12月実施)

○収入

(円)

区分	募金団体等	募金額
戸別募金	48 自治会	3,505,475
その他募金	法人、個人、団体等	178,410
合計		3,683,885

○配分

(円)

事業名	内容	金額
生活困窮者見舞金支給事業	要援護世帯へ見舞金支給	1,340,000
緊急的生活支援事業	困窮世帯への食料等支援・要援助者へ卓上カレンダー配布	243,842
福祉ニーズへの支援事業	社協啓蒙活動・制服リユース管理・こどもの学習支援	384,560
災害関連事業	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練・災害ボランティア養成講座・災害用品等の整備	309,705
社会福祉施設助成金事業	高齢者・障害者・児童福祉施設・小規模作業所等へ助成	720,000
福祉関係団体助成金事業	当事者団体・学校等の年末年始福祉イベント等へ助成	450,000
地域・在宅福祉事業	障がい者福祉イベント・在宅福祉活動等	186,401
合計		3,634,508

平成30年度 事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年5月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会